

令和4年度 氏家小学校学校評価結果について

学校教育目標である「よく考える子」「なかよくする子」「体をきたえる子」の達成に向けて、「信頼される学校づくりの推進」を加え、それぞれについて、**具体策や主な手立てを考えて計画的に取り組んできました。**今年度の取組について、**教職員の自己評価を基に協議をした結果や児童・保護者・学校運営協議会委員によるアンケートをまとめたもの**から今年度の氏家小学校学校評価結果をお伝えします。

教育目標達成のための努力点・具体策の評価結果から

※赤字は重点項目

A：よくできている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない

目標	努力点	具体策	評価	
よく考える子・かしこさ	1 基礎基本の確実な定着を図る	1 基本的な学力の定着を図る。	ア 聴く力・話す力の育成 B イ 書く力の育成 B	
		2 学業指導の充実を図る。	ア 学びに向かう学級づくり A イ 個別最適化を目指した授業の展開を図る A	
			3 基本的な学習習慣の定着を図る。	ア 家庭学習の指導充実 B イ 本時のねらいの明確化と振り返りの充実 A
		2 主体的・対話的で深い学びにより思考力、判断力、表現力を育てる		1 学び方の育成を図る。
			2 指導力の向上を図る。	ア 学校課題の研究 A イ 外部講師を招いての研修 B
				3 学力調査の結果の活用を図る。
	なかよくする子・やさしさ		1 思いやりの心を育てる	
		2 自己有用感・規範意識を高める。(考動)		ア 「幸せづくりのお手伝い」を推進し、自己有用感を高める A イ 「氏小児童宣言」（凡事徹底）を推進し、規範意識を高める。 B
				3 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を高める。
		2 進んで働くとする態度を育てる	1 縦割り班のよさを活かし、みんなで協力して清掃活動に取り組めるようにする。(考動)	
2 みんなのために働く態度を育成する。(考動)				ア 係・委員会活動の工夫と充実（場・時間） B イ 計画性のある栽培・飼育活動の充実 B
			3 奉仕の態度を育成する。(考動)	ア 美しく潤いのある環境作り A イ 校舎内外の整備をとおしたボランティア精神の向上 A

	努力点	具 体 策		評価
体 を き た え る 子 ・ た く ま し さ	1 健康で安全な基本的な生活習慣を養う	1 心身の健康な体づくりのための保健教育の推進。	ア 「ぴんぴた立腰」の推進	B
			イ 疾病の予防	A
		2 健やかな体づくりのための食育の充実。	ア 早寝 早起き 朝ごはんの推進	B
			イ 食に関する指導の推進	A
		3 自分の命を自分で守る安全に関する指導の充実。	ア 登下校時、廊下・階段の安全指導の徹底	B
			イ 災害安全教育の徹底	A
	2 進んで運動に取り組む態度を育てる	1 体力と技能を共に高める指導法の工夫。	ア 体育科経営計画の活用	B
			イ 授業中の運動量の確保	B
		2 体を動かす楽しさの育成。	ア 外遊びの奨励	A
			イ 体を動かす時間の確保	B
3 最後までやりぬく態度の育成。	ア めあての提示	B		
	イ 検定カードやがんばりカードの工夫	A		
信 頼 さ れ る 学 校 づ く り の 推 進	1 地域とともにある学校づくりを推進する	1 地域人材の活用による協働強化。	ア 学校運営協議会により、学校教育活動を活性化	A
			イ 地域学校協働本部の活性化を図る	A
		2 学校評価（DCA Pサイクル）を活かした工夫改善。	ア 学校評価・学校関係者評価を充実させ、学校経営に活かす	A
			イ 学校関係者評価や行事後の反省を活かし行事や活動後すぐに見直しと次年度の計画に取り組む。	A
		3 情報の発信による教育活動の周知。	ア 魅力あるホームページを作り、発信・公開することで、学校理解を図る	A
			イ 地域へ学校だよりを配布し、地域の拠点としての役割を充実させる	A
	2 教職員の資質向上と協働遂行力を醸成する	1 学校経営ビジョンの共有と働きやすい環境づくり。	ア 学校経営に対する参画経営意識を高め協働遂行力を活かした業務の実践を図る	A
			イ 教職員の担うべき業務に専念できる環境を目指し、すべての教職員が輝く学校づくりに努める	A
		2 研修の充実と指導力の向上。	ア 「授業ふりかえりシート」「ここを活かしますシート」を活かし、授業力の向上を図る	A
			イ さくら市小中一貫教育の推進	A
3 サービスの厳正と信頼関係づくり。	ア コンプライアンスシートを活用し、サービス規律の遵守意識を高める	A		
	イ 保護者及び来校者に対し、誠意ある接遇を心がけ、信頼関係を構築する	A		

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、各教育活動の実践・充実に努めてきた。一人一台のタブレットも、授業の中でさらに効果的に活用し、学び合いにつなげた。「なかよくする子」の2-2-1では、児童の主体性を活かした係・委員会活動を推進していく。「体をきたえる子」の2-2-1については、昨年度の反省をもとに「体力アップ広場」として児童が楽しみながら健康のための体力づくりができる場を設け、定期的実施した。学校運営協議会やSUNさんサポート隊との連携により、地域の力で子どもたちの学びを支えていただいた。今後も教育活動のさらなる充実に向けて工夫・改善に努めたい。